

義務教育学校移行に向けて(その3)

◆義務教育学校への挑戦がはじまります。

平成29年4月、3校が義務教育学校として新たなスタートをします。全国で23番目となる新しい挑戦です。

まず、「二つの学校である」という意識、5年目に入る小中一貫教育が効果的に機能し、「コミュニティ・スクールがそれらを支えるものとなります。1月には、各学校に横断幕を設置して、みなさんにお知らせするとともに職員全体で義務教育学校の歴史を踏み出していきます。

◆義務教育学校のQ&A

Q9 今年度の卒業式はいつですか？
 A 今年度の卒業式は3月10日(金)、小学部(6年生)は3月17日(金)です。

来年から小学部卒業式は、前期課程修了式と形を変えます。Q10 今年4月の入学式はいつですか？
 A 4月11日(火)です。今回までは、1年生と7年生の合同入学式となります。

Q11 義務教育学校になることで、何か大きく変わることはありますか？
 A 5・6年生に中学校の授業形態が一部導入され、教科担任制が進み、中学部の専門教科の先生から授業を受けるようになります。また、学校全体では、1～6年の授業に専門教科の先生が教える場面が増えます。この取り組みで、学力向上。

Q12 PTA・育友会には変化がありますか。
 A 現在と大きく変わりませんが、「二つの学校である」という意識はこれまで以上に強まっています。1年から9年までの保護者の連携・協力が進んでいくこととなります。そして、卒業後も保護者や卒業生に引き続き学校支援ボランティア等としてコミュニティ・スクールの推進に関わってもらいたいと考えます。

■問い合わせ 教育委員会 学校教育課 ☎75-22227



市長コラム Message for citizen

池田学さんの細密画宇宙

市長 横尾 俊彦

多久市出身の画家・池田学さんの個展が佐賀県立美術館で3月20日まで開かれています。感動の世界満載の作品120点が揃っています。今は米国ウイスコンシン州マディソンのチエゼン美術館で創作活動が続ける池田さん。その画法は1ミリ以下の極細ペンで描くというユニークなものです。そして作品は巨大で細密。下書きなしで描く流儀に多くの人が驚嘆します。オープニングセレモニーでの挨拶で、感極まり涙声の間もありがとうございました。「こんなに多くの人が待っていてくださったことに幸せに感謝します」。そのメッセージが心に響きました。展示室入口の純白壁を曲がると、池田ワールドが広がっています。ひととき目を凝らして観てこそ分かる発見もあります。その細密部分に、人生で出会った出来事、発見や感動、せつない祈りや大きな希望などが凝縮し散りばめられています。ファンタジーのようにも、自叙伝のようにも描かれています。全体としての迫力と波動のようなうねりが作品から伝わります。花と見える部分も凝視すると事物集積だったり、深い思いを伝える長編詩ストーリーやパノラマ描写もあったり。さらに独自のユーモアもさりげなく隠されています。それを見出すのもおもしろい。その描写の原点に多久の自然があるとも。幸いにも、子どもたちは入場無料です。自分の特性を活かし人生を切り開けることを感じてほしいし、これから生きる未来への勇気と希望も見出してほしい、と願っています。

絵画への志を立て、東京芸術大学へ進み、選ばれてカナダのバンクーバーで創作に打ち込み、作品の出会いから米国の美術館に招聘され滞在制作プログラムへ。途中に辛苦克服もあったでしょう。だからこそ優しい心と祈りを秘める詩人のような画風が輝いています。多くの方に見ていただきたいですね。

